

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS EX
ビジネスJIBプリンター

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

東白川小学校 様

東白川小学校の教頭先生に、平成28年6月に導入されたORPHIS EX7200の感想を伺いました。

東白川村小学校様は創立以来「せいっぱい きたえ のびよう 東っ子」という教育目標を掲げ、今年度は「自分を出し切り 笑顔いっぱい」の学校に」を重点にして取り組んでいます。

作業効率の見直し、時間の短縮へ

当時の印刷環境では、孔版印刷機で30頁くらいのPTA総会資料を作成する際、印刷した資料を一枚一枚手作業で丁合し、最後にホチキスを留めるという後処理を毎年職員総出で半日以上費やしていた為、とても煩わしく思っていました。そんな印刷工程を一台でこなせる機械がないかと悩んでいた時に、多機能なORPHISをジムブレンさんから紹介して頂きました。ORPHISは丁合とステープル留めを一連の動作で行える為、煩わしく思っていた作業も短時間で作成可能になり、また小冊子印刷も面付けの順番を考慮することなくORPHISが自動で並び替えをして印刷してくれる為、考える手間を大幅に省く事ができ助かっています。他にも、今までは印刷後にハンコでPTA資料などのページNoを押していましたが、ORPHISのページ印字機能を使えば印刷をしながらページNoを入れる事が出来る為、今では作業効率も上がり資料作成や生徒への指導に時間を充てる事が出来ています。これだけの作業を1台で簡単にできてしまう為、ORPHISは学校になくてはならない存在になっていますね。

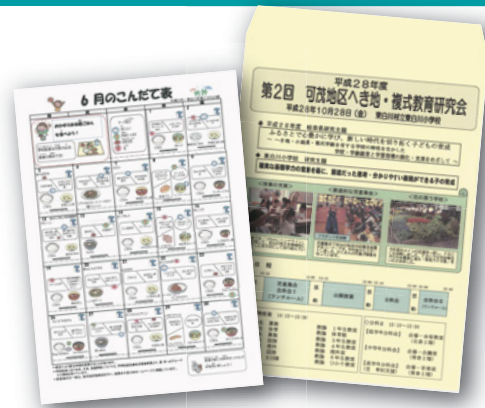
孔版印刷機(モノクロ)からインクジェットプリンター(カラー)へ

社会科の学習で地図や教科書の写真を印刷すると、どうしても黒だけでは伝わりにくいくところがありましたが、ORPHISでカラー印刷する事によって子ども達の目により留まりやすくなったり、理解がしやすくなったりと学習意欲が高まっています。またPTAの資料もカラーになった事で子ども達の顔が見え、「探しやすい」と親御さんからも高評価を頂きました。印刷作業や資料作成をする先生達以外にも、印刷したプリントで勉強をする生徒やお便りを読む親御さんに喜んで頂けるので、導入して本当に良かったと思っています。

外注印刷から内製化へ

ORPHIS導入前はカラー印刷ができなかった為、封筒や教育研究会の資料などは料金と時間がかかる外注に印刷を依頼していましたが、予算の捻出や校内の提出期限を早めるなど悩みを抱えて困っていました。しかし導入後はORPHISの特徴である低コストで印刷をしている為、以前に比べ印刷費用が約1/3削減され、更に印刷スピードも毎分120枚ととても速い為、作成から印刷するまでの時間が確保でき、今では納期に慌てることなくギリギリまで原稿の修正や見直しが可能になりました。また運動会のパンフレットや避難訓練の資料など年に数回しか印刷をしないものも、原稿からすべて校内で作成し内製化をしています。

校内で原稿を作成すると配色や効果的に見える色の使い方について悩みがでるようになったのですが、色彩検定の資格を持っているジムブレンさんに相談した所、色の見え方や色のイメージなどを提案して頂き、より読み手に伝わる資料作りが出来るようになってきています。今後も多機能なORPHISを活用して、作り手の思いを具現化させていきたいですね。



左：カラーイラストだから、ひと目で分かる献立表に。
右：オルフィスだから、このような封筒印刷も出来てしまいます！



子ども達のカラー写真を多く載せる事で、親御さんへ学校生活の様子が伝わりやすくなりました！

営業担当者の声



営業担当：三ツ岡 大輔

ORPHISの導入で丁合などの作業時間が短縮された為、今まで以上に生徒と接する時間が確保できた、と伺っています。また、ORPHISが教育に役立っている事を嬉しく思っています。

今後も定期的に使用状況进行分析しながら、JB Valueシステムによる経費削減や色彩検定の資格を活かしたカラー印刷による教育効果を提案して参ります。